

その他の食料品製造業におけるフォークリフトを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	仕上げ室にて、空荷リフトをバックで運転し車体の後に降りようとした。完全停止をする前に左足を車外に出してしまった為、パレタ柵と惰性で動いているリフト後部に左足が挟まれ、左足かかと付近を裂傷した。	25~29	10
3	11~12	本社工場内において、フォークリフトのフォーク（積荷台部分）の高さを変更するため、左側のフォークを外してフォークレールに掛けたが、掛け方が浅かったのでレールよりはずれて落下し、左足を負傷した。	64~29	10
5	16~17	構内（工場前）にて、終業後に更衣室に向かって歩行中に、後方から来たフォークリフトにお互い気付かず、歩行者の後ろからぶつかった。フォークリフトの左後輪と歩行者の左足が接触して歩行者が倒れ込み、フォークリフトはすぐに前進して停止し、周囲にいた従業員とフォークリフト操縦者が救助した。	50~299	100
7	21~22	KL500ラインボトルチップ回収装置前で、フォークリフト担当者がボトルチップで満杯になった袋（フレコンバック）をリフトでパレットごと引き出そうとして、誤って袋を倒した。助けに呼ばれた被災者が袋を吊り上げるため、袋のベルトをリフトの爪に掛け、リフト担当者へ爪を上げるよう合図したが、挟まれそうになり、爪を止めるよう言ったが伝わらず、リフトの爪と回収装置架台の間に左上腕部を挟まれた。	24~299	100
7	10~11	梨荷受場所で、作業開始により定位置に移動中、フォークリフト1.5t（荷重）と接触し、右足を踏まれて骨折した。	35~99	50
	10~	当社培養センターの空ビン置場で、フォークリフトで空ビンの運搬作業中に、バック		10

9	11	クする際鋼鉄製の柱に、後方確認を怠ったためフォークリフトのカバーより、投げ出していた右足をぶつけて、スピードが出ていたため、かなりの強さで圧迫した。	22	～ 29
9	9～ 10	柿の選果場で柿を箱詰め作業中、通路をフォークリフトが通過した際、自身の左足がフォークリフトの左後輪に踏まれ受傷した。	47	100 ～ 299
12	11～12	工場の倉庫内を休憩のため移動しているとき、委託業者の従業員がフォークリフトで荷物を荷物用エレベーターに乗せようとしていた。前方が見えていなかったため、荷物が本人の右腕と右脇腹に当たって打撲した。	68	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html